

基本目標

Ⅱ

創造性や豊かな心を 育むまち

市民が、生きがいづくりやまちづくりへ参画するために、生涯にわたって学び合える環境を構築するとともに、文化・スポーツ活動を通じて文化の創造・継承やスポーツに触れることで、人生100年時代を心豊かに過ごせるまちを目指します。



施策 5 生涯学習活動の推進

施策 6 芸術文化活動の推進

施策 7 スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実

施策 5

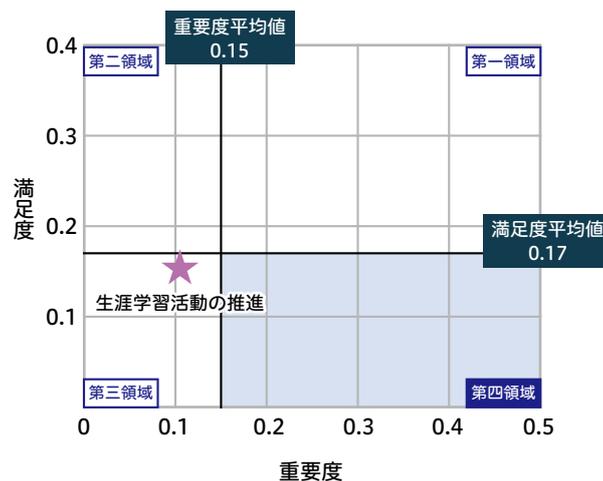
生涯学習活動の推進

施策の目的

市民の誰もが生涯にわたって、自ら主体的に学び、自己実現を図ることができるよう、市民協働による生涯学習環境を構築します。

■ 現況と課題

- 国は、働きながら学べる環境整備や社会教育施設の機能強化、社会教育人材の養成・活躍機会の拡充などを基本施策としています。
- 県は、多様な学習機会の提供、学びを活用した地域課題解決の支援などを主な取組としています。
- 学習の方法やニーズの多様化が進む中、デジタルプラットフォーム^{*}を活用した学びの提供や、いつでも・どこでも・誰もが学ぶことができる環境の充実が求められています。
- 生涯学習事業全般で参加者の固定化と高齢化が進み、多世代のニーズに対応できるような生涯学習の取組が課題となっています。また、学習拠点のほか、市民の居場所として気軽に利用でき、集える環境づくりが必要となっています。
- 福祉センターとの複合施設となっている公民館が老朽化しており、生涯学習活動の拠点として利用しやすい環境の整備が必要となります。





取組の方針

(1) 地域との協働による生涯学習活動の促進

総合戦略

- 「生涯学習」をより身近なものと感じ、生涯にわたって市民誰もが主体的に学び続けることができるよう、生涯学習活動のきっかけとなる場や機会を広げるなどの取組を充実していきます。
- オンデマンド講座やオンラインを活用した取組の充実など、市民の積極的な参加を促すよう、各世代のニーズに合った講座を開催します。
- 図書館や公民館などの生涯学習の拠点だけでなく、公共施設全体で、学びの機会を提供できるよう連携した取組を行い、学びを通じたつながりを育みます。
- 新たな官民連携の手法である、PFS*（成果連動型民間委託契約方式）を導入し、民間ノウハウを最大限発揮することで、公民連携による図書館サービスの向上を図ります。

(2) 生涯学習環境を支える人材育成と体制強化

総合戦略

- 地域全体で子供たちの学びや成長を支える「学校を核とした地域づくり」が求められており、学校や地域の様々な団体と連携した取組を推進します。
- 生涯学習を進める担い手となる人材の発掘や養成、サークルや活動団体の活躍の場の充実を図ります。

(3) 社会教育施設等の充実と利便性の向上

総合戦略

- オンライン学習や電子図書館の充実など、ライフステージや多様なニーズに応じた生涯学習環境の整備を図ります。
- バリアフリーや Wi-Fi 環境の整備など、学びの拠点だけでなく気軽に立ち寄れる施設としての利便性を向上していきます。

施策指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
生涯学習活動を行っている市民の割合	生涯学習活動を行っている市民の割合	25.6%	30.6%	【市民意識調査】 年1ポイント増で推計
市立図書館の年間来館者数	中央図書館、上戸田分館、下戸田分室、美笹分室、下戸田南分室、戸田公園駅前配本所における来館者数	437,109人	447,109人	年2,000人増で推計
郷土博物館の年間来館者数	郷土博物館における来館者数（常設展示）	11,705人	12,705人	年200人増で推計

関連計画

- 第5次戸田市教育振興計画
- 戸田市生涯学習推進ビジョン

施策 6

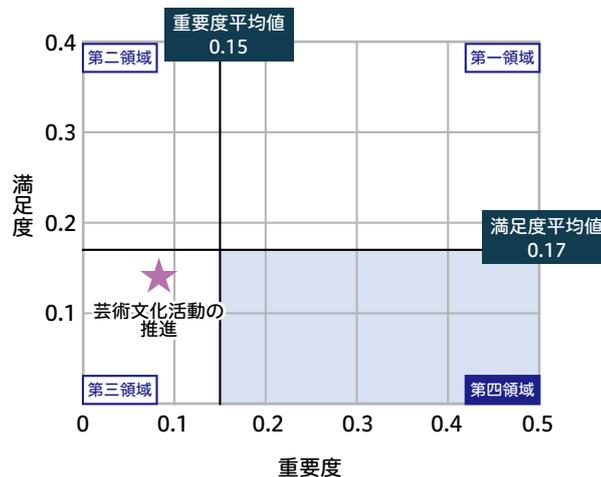
芸術文化活動の推進

施策の目的

市民の芸術・文化に対する関心を高めるために、質の高い音楽や芸術に触れることのできる環境を整えるとともに、市民自らが活躍できる機会をつくるなど、市民の芸術・文化活動を促進します。また、現在残されている文化財の記録保存を含め後世に継承するとともに、まちづくりに文化財を活用しつつ、歴史的な特色を生かした新しい価値を創造し、地域文化の向上を図ります。

■ 現況と課題

- 国は、芸術・文化を通じたまちづくりにも力を入れており、更なる活性化が求められます。また、令和5年（2023年）4月に博物館法が改正され、目的に「文化芸術基本法に精神に基づく」ことが明記されたことから、郷土博物館においても文化施設としての機能や役割を意識した取組が必要となります。
- 商工祭や朝市、商店街でのワークショップ**等、経済活動とコラボレーションした芸術・文化活動が、草の根的に市民に浸透してきています。
- 令和7年（2025年）4月に「戸田市文化芸術推進条例」を制定し、基本理念を定めました。また、郷土博物館も文化施設としてアートミュージアム*機能の展開を図るなど、芸術・文化活動の推進が加速しつつあります。
- 一方で、芸術・文化活動の場や発表する機会が少なく、更なる拡充や提供が求められています。
- アートミュージアムを年間通して常時展開するためには、常設的な展示施設・設備の整備の進め方やマネジメントの手法、専門人材の確保等の検討が必要となっています。
- 人口動態や世代の変化により、郷土史や地域の文化財等に対する市民の関心が希薄化しています。また、文化財所有者等の世代交代にも対応した文化財保護の取組が求められています。
- 文化財等の収蔵スペースの確保が課題となっているとともに、博物館所蔵資料や市内文化財等の情報のデジタル化が求められています。





取組の方針

(1) 芸術・文化活動の環境整備

- 芸術・文化活動の各分野におけるプロフェッショナルの公演など質の高い芸術・文化を鑑賞し体験する機会を設けることで市民の興味関心を高めます。また、小さな頃から芸術・文化に触れることができるよう、こどもや親子をターゲットとした事業の充実も図ります。
- 芸術・文化を振興する団体と連携した事業 PR を行うとともに、主体的な活動を行う市民や新たに芸術・文化活動を行うコミュニティ形成への支援を行い、芸術・文化を発信できる機会の創出を図ります。
- 郷土博物館におけるアートミュージアムの常設的展示などによる機能拡大、学芸員などの専門人材の確保について検討を進めます。
- 郷土博物館と学校による博学連携の取組を拡充します。

(2) 文化財の保護と活用促進

- 歴史や文化に触れる機会や魅力あるイベントを開催することで、郷土史や地域の文化財などに対する関心を高めます。
- 文化財保護法に基づく文化財の保存に加え、収蔵品管理システムを活用した博物館所蔵資料情報のデジタル化を引き続き進めるとともに、市指定無形民俗文化財等の動画コンテンツの作成や配信を行うことにより、文化財に対する関心を高めます。

施策指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
文化祭・音楽祭・美術展覧会の出品者数・参加者数及び鑑賞者数	市が主体となって開催しているイベントへの年間出品者数・参加者数及び鑑賞者数	出品者・参加者数 1,213人 鑑賞者数 11,401人	出品者・参加者数 1,511人 鑑賞者数 17,723人	令和3年度(2021年度)から令和6年度(2024年度)までの平均増加割合を令和6年度(2024年度)実績値に乗じて得た値から推計
指定管理業務における文化事業の参加者数及び鑑賞者数	指定管理業務における文化事業に関わる年間の参加者数及び鑑賞者数	参加者数 468人 鑑賞者数 27,110人	参加者数 1,278人 鑑賞者数 34,210人	令和3年度(2021年度)から令和6年度(2024年度)までの平均増加割合を令和6年度(2024年度)実績値に乗じて得た値から推計
戸田市の文化財の認知度	戸田市の文化財を認知している市民の割合	8.8%	9.8%	【市民意識調査】 年0.2ポイント増で推計

関連計画

- 戸田市文化芸術推進基本計画
- 戸田市郷土博物館ビジョン

施策 7

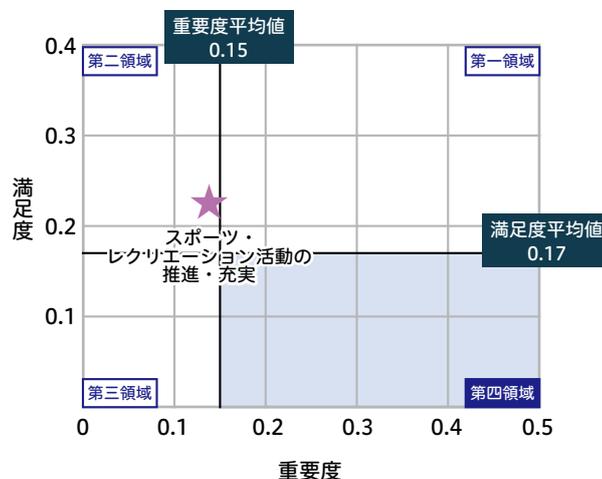
スポーツ・レクリエーション活動の 推進・充実

施策の目的

戸田ボートコースや彩湖など、地域資源を生かした、戸田市独自のスポーツ・レクリエーション活動を展開するなど、市民の誰もが年齢や体力に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができるようにします。

■ 現況と課題

- フランス・パリで行われた第33回オリンピック競技大会で初めて実施されたブレイキンや、スケートボードなどの「アーバンスポーツ^{*}」の普及や、スポーツ基本法の改正により情報通信技術を活用したスポーツの機会の充実が定められたことから、市民の誰もが年齢や体力に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができるよう、新たなスポーツやレクリエーションの分野への対応も検討していく必要があります。
- 令和6年（2024年）4月に「戸田市スポーツ推進条例」を制定し、基本理念に加えて、市民等、スポーツ関連団体や事業者のそれぞれにスポーツ推進のための役割を定め、各種取組を推進しています。
- スポーツ推進及びスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる戸田市スポーツセンターの再整備に向け、市民ニーズや本施設を取り巻く環境の変化などを整理し、施設のコンセプトや導入施設等の規模、必要となる設備、機能等をまとめた「戸田市スポーツセンター基本構想」の策定を進めています。
- ボートコースを活用した水辺のスポーツの推進のため、地域とボート関係者及び行政で構成する「ボートのまちづくりコンソーシアム」を設置し、地域課題の共有や「ボートのまち戸田」のイメージ定着・PR事業などの検討を行っています。
- 生涯にわたりスポーツに親しむ機会として、スポーツを通じた世代間及び地域間の交流の基盤の形成などが必要となっています。





取組の方針

(1) 誰もがスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境の整備

- 全ての市民がスポーツに参画できる社会の実現を目指し、こどもの健全な発達や体力向上のためのスポーツの充実や、高齢者や障がい者（児）がスポーツに参加できる機会の提供など、多様な人々がスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境づくりを進めていきます。また、全ての市民がスポーツに気軽に親しめる環境づくりのため、市内スポーツ関連団体と連携し、互いの強みを生かした取組の展開を図ります。
- スポーツに親しめる環境づくりのため、スポーツを「みる」機会の提供や、「ささえる」人の育成など、スポーツ・レクリエーション活動の参画人口拡大に取り組みます。
- 戸田市スポーツセンターについては、戸田市スポーツセンター基本構想に基づき、再整備に向けた基本計画や設計などを計画的に進めていきます。

(2) スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流の促進

- 地域資源であるボートコースを活用したローイングなどの水辺のスポーツを推進することで、「ボートのまち戸田」の定着を図り、スポーツ・レクリエーション活動を通じた地域への愛着形成につなげます。
- 彩湖・道満グリーンパークなどの地域資源を活用した各種事業により、世代間及び地域間の交流を促進する取組などを展開していきます。

(3) ゆかりのあるスポーツ選手やチームを通じた地域の活性化

- 市内のスポーツ選手等の活動を応援する社会的気運を醸成することで、スポーツを「みる」、「ささえる」機会を創出し、地域の一体感の醸成及び活力の向上につなげていきます。
- 市にゆかりのあるアスリートや地域のスポーツチームなどと連携した競技体験など、健康や地域活性化につながる取組を推進します。

施策指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
スポーツ実施率	週1回以上スポーツを実施している市民の割合	43.1%	60.0%	戸田市スポーツ推進計画における市民アンケート調査の結果を適用
スポーツ教室の参加者数	市及びスポーツセンター主催のスポーツ・レクリエーション教室の年間参加者数	74,965人	76,500人	関係所属及び施設を対象とした「スポーツ・レクリエーションに関連する教室・イベント等の調査」の結果を適用
ローイング（ボート）競技への関心度	ローイング（ボート）競技に関心のある市民の割合	33.0%	40.0%	第2期戸田市スポーツ推進計画の目標値を引き続き採用 達成状況は市民意識調査結果を適用

関連計画

- 戸田市スポーツ推進計画